

天満屋倉敷店 2017年10月の画廊予定

◎ 4階美術画廊

会 期	内 容
9/29(金)～10/5(木)	<p>中島黙仙作陶展</p> <p>美濃焼の地・岐阜県土岐市に生まれ、京都清水焼の陶芸家土山松泉先生のもとで修業されたのち土岐市に築窯され、茶陶を中心に洗練された技術に定評のある中島黙仙先生の新作展です。今展では先生の得意とする黄瀬戸や御深井の花入、茶陶、酒器、食器を中心に、今回は特別に油滴天目の茶盤とぐい呑を出品いたします。約80点の展覧予定です。9月29日(金)、30日(土)、10月1日(日)の3日間 速水流によるお呈茶席も予定しております。</p>
10/6(金)～10/12(木)	<p>河井寛次郎小品展</p> <p>不世出の大陶芸家・河井寛次郎の偉業は没後半世紀を経た今尚その輝きを失っていません。柳宗悦・浜田庄司・棟方志功らと共に民芸運動を大きく牽引し、時代を代表する大陶芸家との高い評価を得ましたが、その生き様は、文化勲章・人間国宝・芸術院会員などを辞退、無位無官の陶工を終生貫いた信念の人でもありました。今展は素朴で健康な美という日本文化の神髄に迫る民芸という世界に止まらず、造形美術の域にも達した寛次郎の作品を、民芸運動とも縁が深い倉敷でご紹介いたします。</p>
10/13(金)～10/19(木)	<p>夢の世界をのぞいてごらん ノブ・サチ油絵展</p> <p>美しく平和な地球を未来の子供たちに手渡せたら…という願いを込めて夢の世界を描いているノブ・サチ先生の個展を開催します。生き生きとした緑、広い紺碧の海、無限に広がる銀河、無邪気に遊ぶ子供たちや動物たちなど、見ている人を温かい気持ちにさせてくれる油絵約30点を出品いたします。2012年には瀬戸内市立美術館で展覧会を開催され、生命保険会社や製薬会社などのカレンダーや銀行の通帳の表紙に採用されており、岡山・倉敷でも多くのファンがいらっやいます。</p>
10/20(金)～10/26(木)	<p>古代の美を身にまとう 羽原恵子 とんぼ玉ジュエリー展</p> <p>国内有数の古代ガラスコレクターであった羽原明德氏の長女・羽原恵子さんがプロデュースする古代ガラスを使ったジュエリー展です。羽原さんは倉敷市のご出身で、お父様の影響を受け古代ガラスや古代ビーズを研究蒐集。古代のロマンと美意識が詰まった『とんぼ玉』を使用したジュエリーやアクセサリを出品いたします。</p>
10/27(金)～11/2(木)	<p>ステンドグラス 豊本善隆・信子父娘展</p> <p>真庭市湯原に工房を構え創作活動をされている豊本善隆先生と長女の信子先生。かつて美観地区近くに工房を構えていたため、倉敷に多くのファンがいらっやいます。ステンドグラスに独自の絵付け技法を取り入れており、诗情豊かでオリジナリティーあふれる作品から放たれる色ガラスの優しく温かい光が幻想的な世界へ誘います。善隆先生、信子先生あわせて約40点を出品いたします。</p>

営業時間 午前10時～午後7時30分

作成：美術画廊担当 国光

いずれも会期最終日は、午後3時に閉場いたします。

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。

※出品内容に変更がある場合があります。

お問合せ

天満屋倉敷店 販売計画

TEL 086-426-2205

FAX 086-426-1136